

## 古代交通研究会第23回大会

# 日本古代の官衙と物流—倉庫・道路・津—

2025年6月28日(土)・29日(日)

### 【趣旨】

地方官衙遺跡の大きな特徴として、大規模な倉庫群(正倉)の存在を挙げることができます。地方官衙は租税の集積地であるだけでなく、地域社会における生産と流通の拠点でもあったと考えられます。これまで議論されてきた官衙の立地と機能について、倉庫群と陸上交通(道路)・水上交通(津)との関係を総合して考えることで、物流の視点から古代交通の実像に迫ることができるのではないかと考えます。

また、地域社会のみでなく、より広い範囲での物流を考える上でも、官衙(倉庫群)と交通路の関係は重要です。たとえば、ミヤケとの関係が想定される大阪府法円坂遺跡や福岡県比恵遺跡の倉庫群では、難波津・那津(博多津)との関わりにおいて物資が集積されていたと考えられます。八世紀以降においても難波津や那津(博多津)は都城・大宰府と海外とを結ぶネットワークの結節点としての性格を有していました。また、大宰府との関係では、周辺の山城も含めた交通網も検討する必要があります。

以上の問題意識に基づき、大会シンポジウムでは、郡家・国府・大宰府・山城など、様々な官衙における倉庫と陸上交通・水上交通との関係を軸にして、古代における物流について考察したいと考えています。文献史学・考古学双方の視点から、また多様なレベルの官衙(倉庫群)に関する各報告により、議論を深めていきたいと思えます。

### 【日程】

第1日目(6月28日) 13:00~17:30

総会・個別事例報告

- ・上田優喜氏・新井達哉氏「西久保遺跡(福島県福島市)の調査」
- ・蓼沼香未由氏「寺ノ上遺跡(茨城県大洗町)の調査」
- ・鳥居貴庸氏「町北遺跡(群馬県安中市)の調査」
- ・池田 格氏「下郷古墳群(群馬県吾妻郡)の調査」
- ・坂本嘉和氏「石塚廃寺東遺跡・大鴨遺跡と伯耆国府周辺の交通路」

第2日目(6月29日) 10:00~16:30

テーマ報告・パネルディスカッション

- ・武井紀子氏「文献史料からみた古代のクラ」
- ・眞保昌弘氏「古代東山道諸国のクラ—水陸交通と流通の視点から—」
- ・佐藤 隆氏「古代難波の諸宮と難波津」
- ・小鹿野亮氏「大宰府と山城におけるクラの遺跡」
- ・大橋泰夫氏「コメント」

### 【会場】

明治大学駿河台キャンパス リバティホール(リバティタワー1階)

### 【開催方法および申込方法】

- ・対面およびオンライン併用のハイブリッド方式での開催を予定しております。
- ・参加は無料ですが資料(紙媒体・PDF等)の配付はありません。資料集を別途お買い求めください。
- ・参加にあたっては事前申込が必要です。事前申込の方法および資料集の販売については古代交通研究会ウェブサイト(<http://kodaikoutsu.g1.xrea.com/>)において、随時お知らせいたします。

### 【問い合わせ先】

古代交通研究会第23回大会事務局 E-mail: [kodaikotsu@gmail.com](mailto:kodaikotsu@gmail.com)